日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

SIDE-A

終戦記念日街宣を市議団と治安維持法国家賠償要求同盟の皆さんと共に行いました。

盆休み
夏かぜひいて
寝てました
（はるみのワクワク川柳）

８月１日ねぷた出陣式で

８月６日　新婦人６・９行動、平和の波行動に参加

８月１日
憲法９条つがる女性の会で「ねぷたまつり憲法９条守ろう！アピール行動」に参加

弘前城ミス桜の皆さんらとご一緒に

ほっとタイム

（原爆投下）

今年の夏も戦争にまつわる番組が多く放映され、知らないことがまだまだあるんだと思い知らされました。ＮＨＫスペシャル「原子爆弾・秘録―謎の証人とウラン争奪戦」は、広島長崎で使用された原子爆弾の原材料ウランをアメリカに売り込んだ商人が書き残した３万ページの資料に基づいて報じらたものでした。その商人エドガーサンジェはベルギーの最大の財閥ユニオンミンエール社の一人の商人としてベルギーの植民地だったコンゴで銅の生産を任されていました。そこで偶然出会ったのが純度の高いウラン鉱石で、当時ウランの活用方法はなかったが、いつか活用方法が見つかれば、市場を独占できると先行投資したものの、ウランの用途はみつからないまま１９３７年に閉山した。しかし、その後ドイツの科学者がウランの価値を発見し、その当時ヒットラーが台頭してきており、ドイツが核を手にすることを恐れ、１９４０年末にコンゴにあったウラン１２００トンを秘密裏にニューヨークへ出荷し、スタテン島に保管された。１９４１年12月８日真珠湾攻撃でアメリカが日本に宣戦布告をしたことを受けサンジェはアメリカに売り込みを開始し契約が成立。アメリカ、イギリス政府はコンゴの鉱山から99年間の専売権の契約も。アメリカは開発中だった原爆の研究を再開。原爆投下は戦争を早期に終わらせるために核の力を示すことが必要だったとする。そして、１９４５年７月16日ニューメキシコ州で最初の核実験に成功し、その３週間後８月６日の朝広島に、そして８月９日長崎に２発の原子爆弾を投下した。一商人が手渡したウランによってつくられた原子爆弾によって広島でＩ４万人、長崎で７万人の命を無差別に奪った。一命をとりとめた人々もやけどや放射線で苦しめ続けられることになる。サンジェは、戦争を終わらせることに著しく貢献したとして外国人には異例な大統領からの勲章を授与された。しかし、サンジェの手記には、核実験を繰り返し欲望を加速する国家に対し恐怖がつづられている。コンゴでは終戦後７年間１万人が過酷な労働の元ウラン採取を続けさせられた。ほとんどが肺の病気で亡くなっていったとも。コンゴがベルギーから独立する１９６０年まで広島型原爆の３５００発に匹敵するウランを採掘し、核実験は１９４回繰り返された。ユニオンミニエール社の売り上げは年間２０００億円に達しヨーロッパ有数の鉱山会社に成長し、サンジェは名誉会長まで上り詰めた。この番組を見てとてもやるせない気持ちになりました。もしサンジェの思い付きがなかったら原爆投下の悲劇はなかったかもしれない。戦争の裏で儲ける死の商人が暗躍する時代を無くしたい。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
９：00～14：00（土・日・祝日左記時間以外は留守電対応）
Ｅメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/
Twitter　安藤はるみ　日本共産党　で検索　フォロワー211 人

７月の相談件数５件
ホームページアクセス数　58,115 件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの 新・アジサイだより

SIDE-B

ご近所にアジサイだよりを配布して下さる方がありましたらご一報下さい。

7月20日建設委員会

昨年に続き被災した不老不死温泉わきの町道復旧に支援を

永澤親兼建設部長は「再災害となり町の職員と現地を見てきたが、同じ工法で復旧しても又被災する可能性があり、県ではコンサルに発注する際に同席しアドバイスしていく。災害査定についても町の分を含めアドバイスしていく」と答弁。観光シーズンに入る矢先の被災でできる限りの支援を求めました。

地すべりが想定される個所、発生状況と対策について問う

村田尚樹河川砂防課長は「土砂災害防止法によって地滑りに関する土砂災害警戒区域を指定しており、現在85か所となっている。また、地滑り等防止法では、公共の利害に密接な関連を有するものを地滑り防止区域として指定することができ、県内では22か所指定されている。対策として現地で測量、地質調査や地滑り変動を観測し、詳細設計を行い対策を決定する。地滑りを予知する工事や地滑り発生要因となる地下水を低下させるための工事などがあり、現在18か所について対策が完了し、残る4か所のうち3か所は現在実施中」と答弁しました。

空き家の状況と対策について問う

千葉健夫建築住宅課長は「総務省が２０１９年９月に公表した住宅土地統計調査によると、賃貸用や売却用等を含めた本県の空き家総数は、８万８７００戸あり、住宅総数59万２４００戸に占める割合は約１５％となる。このうち、使用目的がなく、長期間居住者がいない住宅いわゆる空き家は、４万５８００戸で住宅総数に占める割合は７．７％となる。」対策としては「空き家対策の推進に関する特別措置法では、都道府県は市町村に対して譲渡の提供及び技術的な助言、市町村相互間の連絡調整その他必要な援助を行うよう努めることとされており、これまで市町村職員を対象に勉強会、研修会を開催。２０１７年から県内の宅地建物取引士を対象とした空き家相談員の養成、登録を行い、４月現在で１２７名が登録されており、昨年度は14回の空き家相談会等において34名の相談員が県民から相談に応じる等の活動を実施している」等と答弁しました。いっそう空き家対策に力を注ぐよう求めました。

青い森公園の利用者のマナー向上を求める

子どもも遊ぶ公園でありながら喫煙者が多く、配慮を求める投書を紹介し質問しました。

澤里秀典都市計画課長は「一部の利用者によるごみ捨てや周辺の状況に配慮しない喫煙など公園利用マナーに反する行為について苦情や改善を求める声が寄せられており、ごみの持ち帰りや受動喫煙に配慮することを促す看板等を設置している。マナー重視の看板等について設置場所や表示内容を見直していく他、利用状況を見極めながら、更なる対策も検討していきたい」と答弁しました。

安藤事務所スタッフ葛原の議会傍聴記

２０２３年７月１３日初めて県議会一般質問を傍聴しに行ってきました。

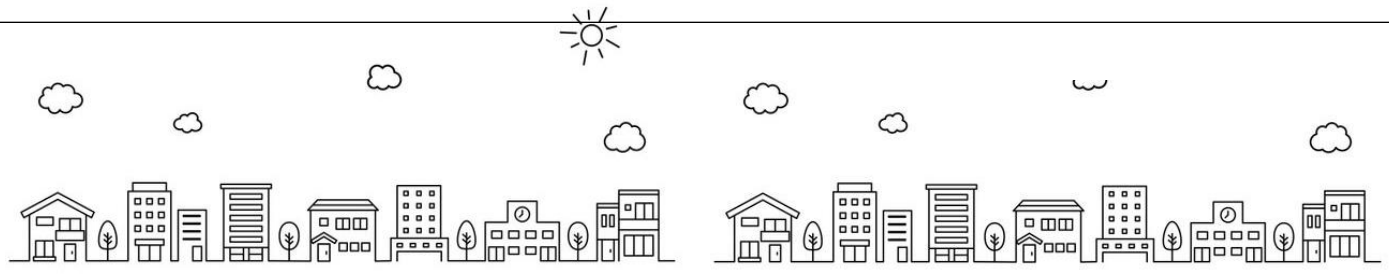
広い県庁内で少し迷子になりましたが共産党の控室に無事たどり着きあたたかく迎えて頂きほっとしました。

傍聴ですが、驚いたのが質問の数の多さです。その質問に次々答えてくれるのですが、知事はへらへらしているし、議員席はザワザワしているし、県民を代表して大事なことを決めているとは思えない雰囲気でした。がっかりです。

私は安藤さんの応援団として（声は出せないけど）ぜひまた議会を傍聴しに行きたいです。

県議会報告会のお知らせ

（日時）　９月２日　午前10時半

（場所）　弘前文化センター第一会議室

※お誘いあわせの上ぜひお越しください。